

令和7年度広域防災拠点（物資）開設運営訓練を実施します

南海トラフ地震の発生を想定し、国等から輸送される救援物資を避難所に円滑に輸送することを目的に、標記訓練を実施します。

今回は、新宮市及び北山村と連携して救援物資を避難所まで輸送するとともに、自衛隊が実施する「07南海レスキュー」と連携し、半島地域における孤立状態を想定した物資輸送訓練を、空路と海路を活用して初めて実施します。

1 日時

令和8年2月4日（水）9：00～15：30 ※訓練時間は変動の可能性あり

2 場所

- ・県広域物資輸送拠点・ヘリ着陸地 新宮市民運動競技場（新宮市佐野1501）
- ・ヘリ着陸地 北山村民グラウンド（北山村下尾井）
- ・燃料給油 東牟婁総合庁舎（新宮市緑ヶ丘2-4-8）
- ・水陸両用車上陸地 三輪崎漁港（新宮市三輪崎1丁目15）
- ・地域内輸送拠点 福山通運（株）新宮営業所（新宮市佐野2122-13）
- ・新宮市避難所 佐野会館（新宮市佐野1丁目9-9）

〈訓練イメージ〉



県拠点 荷積み作業



県拠点 物資ラッピング作業



移動式給油機による給油



市避難所の開設



空路を活用した物資輸送



海路を活用した物資輸送

3 訓練における被害想定

- ・南海トラフ地震（三連動地震）が発生し、東牟婁管内の家屋倒壊の被害が甚大で、管内全域で避難所が開設されていることから、国が本県への物資支援を決定。
 - ・東牟婁管内の中核 SS が地震により被災
 - ・国道が通行不可となり、北山村が孤立
- ※海路を活用した訓練のみ、新宮市が孤立した被害想定とする

4 訓練の概要

○県広域物資輸送拠点～地域内輸送拠点～避難所の物資輸送の実施

- ・県広域物資輸送拠点を開設し、国救援物資及び協定企業の流通備蓄物資を受け入れ、仕分けを行うとともに、新宮市地域内輸送拠点まで輸送を実施
- ・新宮市は地域内輸送拠点を開設し、県から輸送される救援物資等を受け入れ、仕分けを行うとともに避難所まで輸送を実施
- ・新宮市は自主防災組織と連携して避難所を開設し、救援物資等の受け入れを実施

○国の新物資システム（B-Pl0）を活用したオペレーションの実施 **【新】**

県災害対策本部(救援物資班)を県庁南別館に設置し、B-Pl0システムを活用した県広域物資輸送拠点開設、国物資受入、市町村への物資配分、車両手配などを実施

○県備蓄物資の搬出（概ね発災1日後に実施）

東牟婁総合庁舎に保管している備蓄物資をトラックにて搬出

○移動式給油機（どこでもスタンド）の開設・運営

振興局は災害時優先車両の活動を円滑に進めるため、どこでもスタンドを設置し、自衛隊車両、トラック車両に対して給油を実施

○空路を活用した実践訓練の実施（07南海レスキューと連携） **【新】**

県が自衛隊に要請し、中型ヘリ（UH-1）で新宮市立佐野体育館横グラウンドから北山村民グラウンドまで物資を輸送

○海路を活用した実践訓練の実施（07南海レスキューと連携） **【新】**

陸上自衛隊（第304水際障害中隊）が国物資を積載した水陸両用車で三輪崎漁港から上陸し、新宮市地域内輸送拠点まで輸送

5 参加機関(予定)

16機関 約210人参加 ※順不同

和歌山県、新宮市、北山村、和歌山県倉庫協会、公益社団法人和歌山県トラック協会、陸上自衛隊第3師団司令部、陸上自衛隊第3飛行隊、陸上自衛隊第304水際障害中隊、一般社団法人AZ-COM丸和・支援ネットワーク、福山通運株式会社新宮営業所、株式会社キナン新宮営業所、和歌山県石油商業組合、横田瀝青興業株式会社、和歌山県生活協同組合連合会、わかやま市民生活協同組合、株式会社オークワ

6 取材申込み

取材を希望される場合は、別紙取材意向票に必要事項をご記入の上、危機管理部危機管理局災害対策課担当までFAX又はメール送信をお願いします。

提出期限：1月28日（水）15：00



（連絡先）

危機管理部 危機管理局 災害対策課

担当：納屋、松村、加山

電話：073-441-2262

令和7年度広域物資輸送拠点開設訓練の概要

1. 日時

令和8年2月4日(水) ※予備日：令和8年2月5日(木)

2. 主な訓練場所

- (1) 県広域物資輸送拠点：新宮市立佐野体育館（新宮市佐野1501）
- (2) 県災害対策本部：和歌山県庁南別館（和歌山市湊通丁北1丁目2-1）
- (3) どこでもスタンド開設場所：東牟婁振興局総合庁舎駐車場（新宮市緑ヶ丘2丁目4-8）
- (4) 市物資集積拠点：福山通運（株）新宮営業所（新宮市佐野2212-13）
- (5) 市避難所：佐野会館（新宮市佐野1丁目9-9）
- (6) 県備蓄物資搬出場所：東牟婁総合庁舎（新宮市緑ヶ丘2丁目4-8）
- (7) 水陸両用車上陸候補地：三輪崎漁港（新宮市三輪崎1丁目）
- (8) ヘリコプター着陸候補地：北山村民グラウンド（北山村下尾井）

3. 訓練想定(イメージ)

- ・南海トラフ地震（三連動地震）が発生し、東牟婁管内の家屋倒壊の被害が甚大で、管内全域で避難所が開設されていることから、国が本県への物資支援を決定。
- ・東牟婁管内の中核SSが地震により被災
- ・国道が通行不可となり、北山村が孤立
※4(7)の海路を活用した訓練のみ、新宮市が孤立した被害想定とする

4. 主な訓練企画

- (1) 県広域物資輸送拠点の開設・運営
- (2) 市物資集積拠点の開設・運営
- (3) 市避難所の開設・物資受け入れ
- (4) 新物資システムを活用した適切なオペレーションの実施
- (5) どこでもスタンドの開設・運営
- (6) 県備蓄物資の払い出し ※2月3日に実施
- (7) 空路・海路を活用した実践訓練

5. 訓練の流れ

- (1) フェーズⅰ 参集～開錠～開設 [場所2(1)] (8:30～10:00)
 - ア 参集連絡
8時30分に広域防災拠点要員(物資班)に対し、危機管理部から参集メールで伝達
 - イ 現地集合(随時)
対象者：広域防災拠点要員、トラック協会、倉庫協会
 - ウ 開錠
 - エ 資機材の受け入れ
フォークリフトを災害協定により搬入（(株)キナン新宮営業所）
 - オ 会場設営
マニュアルに従い設営
 - カ 移動県庁、衛星可搬局、スターリンクの設置

- (2)フェーズ ii 協定企業からの受入、国プッシュ型支援受入 [2(1)] (10:00~11:00)
- ア 進入順 : オークワ、生協、10tトラック、4tトラック 計4台
 - イ 物資品目の設定
 発災当初の国プッシュ型支援物資8品目
 (想定)
 農林水産省: 保存水、食料、育児用調製粉乳
 経済産業省: 毛布、紙コップ、哺乳瓶、携帯トイレ・簡易トイレ
 厚生労働省: 乳児・小児用おむつ、大人用おむつ、生理用品
 ※運搬数量は、別添「搬出予定物資一覧」のとおり
 - ウ 車両待機場所での指示
 - エ 車両の誘導
 - オ フォークリフトによる搬入
 - カ 拠点内の仕分け
- (3)フェーズ iii 関係者顔合わせ [2(1)] (11:00~11:20)
- 課長から挨拶、参加関係者からそれぞれ挨拶
 - ※挨拶終了後、関係者以外は休憩
- (4)フェーズ iv ヘリを活用した物資輸送 [2(1),(8)] (11:30~11:50)
- 11:35 ヘリ着陸完了
 - 11:40 救援物資を積載完了・離陸
 - 11:45 北山村に着陸し、物資搬出
 - ※アルファ化米 15箱 1500食
- (5)フェーズ v ピッキング、市拠点への輸送 [2(1),(2)] (12:30~13:30)
- ア システム 車両配車、市町村に対する輸送物資入力
 - イ 荷捌き 新物資システム内容に基づきピッキング・ラッピング
 - ウ フォークリフトによる搬出
 - エ 車種 4tトラック
 - ※会場北側から搬出
- (6)フェーズ vi 海路を活用した物資輸送 [2(4),(7)] (12:45~13:15)
- 12:45 国救援物資を積載した水陸両用車が三輪崎漁港から上陸
 - 13:10 福山通運(株)新宮営業所に到着
 - 13:15 搬出完了し、三輪崎漁港へ戻る
 - ※アルファ化米 30箱 3000食
- (7)フェーズ vii どこでもスタンドでの給油 [2(3)] (13:30~14:20)
- ア 対象車両 10tトラック、自衛隊関係車両
 - イ 給油開始時間 自衛隊車両(13:30)、10tトラック(14:10)
- (8)フェーズ vii 新宮市避難所開設運営訓練 [2(5)] (13:45~15:00)
- (9)フェーズ viii 新宮市が開設する避難所に2tトラックで輸送 [2(4),(5)] (15:10~15:30)

搬出物資一覧【東牟婁振興局（国プッシュ型）⇒佐野体育館】

積載トラック	パレット	品目	総量	1箱数量	箱数	箱サイズ(mm)	パレット積載の形
10 t トラック	①	トイレ(携帯用)	3,600 回分	100 回分	36	240×330×200	12箱×3段
	②	紙コップ	2,000 個	500 個	4	390×390×500	2箱×2段
	③	アルファ化米（炊き出し用）	1800 食	50 食	36	330×330×170	9箱×4段
	④	アルファ化米（個食・お粥）	1600 食	50 食	24	420×310×170	6箱×4段
	⑤	パン（缶詰入り）	576 食	24 食	24	470×320×120	6箱×4段
	⑥	保存水（2L）	576 L	6 本	72	320×190×320	12箱×3段
	⑦						12箱×3段
	⑧	粉ミルク（800 g /缶）	64 缶	8 缶	8	310×430×140	4箱×2段
	⑨	こども用おむつ（M寸）	256 枚	256 枚	1	440×620×480	段ボール1箱
		大人用おむつ（M寸）	60 枚	60 枚	1	440×620×480	段ボール1箱
4 t トラック	①	毛布	360枚	10枚	36	750×540×230	2箱×3段
	②						2箱×3段
	③						2箱×3段
	④						2箱×3段
	⑤						2箱×3段
	⑥						2箱×3段

新宮市立佐野体育館 訓練位置図



空路・海路を活用した輸送訓練について

空路を活用した輸送訓練（11:35～11:50）



水路を活用した輸送訓練（12:30～13:15）



- ① 水陸両用車上陸地点
- ② 訓練視察場所
- ③ 関係者車両駐車位置

令和7年度広域防災拠点開設運営訓練 メディア関係者 タイムスケジュール

(1)新宮市立佐野体育館（新宮市佐野 1501）

9:30 メディアの方現地集合

10:00 協賛企業、国救援物資の搬入、仕分けを開始

11:00 搬入・仕分けが完了

11:00 関係者挨拶（11:20まで）

11:30 ヘリへの物資搬入を開始（11:40 終了予定）

11:45-12:05 関係者への取材

12:10 三輪崎漁港に移動

※10:30～11:45までの間、消防による散水対応のため、佐野体育館に駐車した車は入出できません

(2)三輪崎漁港（新宮市三輪崎 1 丁目 15）

7:00 現地集合

7:20 水陸両用車の上陸風景撮影

12:20 三輪崎漁港に到着

12:20-12:40 自衛隊への取材

12:45 陸上での行動開始

12:50 福山通運新宮営業所へ移動

※日中は干潮のため、海上からの上陸はしない

※水陸両用車の海上からの上陸風景撮影を希望される場合は、7:20に可能

(3)福山通運新宮営業所（新宮市佐野 2122-13）

12:55 福山通運新宮営業所 到着

13:10 福山通運新宮営業所に水陸両用車が到着し荷下ろし開始

13:25 佐野会館に移動

(4)佐野会館（新宮市佐野 1 丁目 9-9）

13:30 佐野会館に到着

13:45 避難所開設運営訓練を実施

15:10 2tトラックが避難所に到着して物資を荷下ろし

15:30 訓練終了

○その他

防災訓練のため、ヘルメットの持参をお願いします。

新宮市民運動競技場 駐車場位置図



東牟婁総合庁舎 駐車場位置図



三輪崎漁港 駐車場位置図



福山通運株式会社新宮営業所 駐車場位置図



佐野会館 駐車場位置図

